

徹底的出来事だった。2003年の反戦運動の息吹と「立ち上がった市民」の思いを伝える。

● **バーバラ・リーがやって来た**

日本に呼ぶ会 (協力ビデオプレス・編集土屋トカチ)・  
2002年・20分・3000円 (団体 9000円)

2001年9月14日、アメリカ下院議員バーバラ・リーさんは、ブッシュ大統領に戦争権限を与える法案にたったひとりで反対票を投じた。そのバーバラさんが市民団体の招きで2002年8月日本に初めてやってきた。バーバラさんの日本滞在記録。

● **パークレー 市民がつくる町**

マブイシネコープ (協力ビデオプレス)・2002年・35分・  
4000円 (団体 12000円)

アフガン空爆反対決議をした町にはそれを生み出す歴史があり、もの言う市民がいた。日本の平和運動に熱いメッセージ。



空爆反対を決議したパークレー議会と議員たち、60年代フリースピーチ運動からの歴史、自主ラジオ局 KPFA、草の根反戦運動などを取材。英語版あり。

● **劣化ウラン弾の嵐**

制作委員会 (日本語版制作ビデオプレス)・2001年・80分・  
4000円 (団体 12000円)

アメリカ主導の多国籍軍は湾岸戦争で「劣化ウラン弾」を使用した。この兵器により、ガンと白血病が大量発生し、今なおイラクのこども、大人たちを苦しめている。その被害は参戦した多国籍軍の兵士にまで及んでいる。アルジャジーラ TV の取材。

● **NATO の標的 — ユーゴ空爆の実態**

岩川事務所 (日本語版制作ビデオプレス)・2000年・30分・  
3000円 (団体 9000円)

ラムゼイ・クラーク調査団がユーゴ空爆5日後に現地で見にしたものは、殺傷能力を高めたクラスター爆弾の犠牲者であり、民間施設への無差別爆撃だった。「NATO軍は自ら危機を作り出し、民衆を新しい兵器の実験台にした」とラムゼイ・クラークたちは主張する。

● **劣化ウランの恐怖** **オススメ**

— **湾岸戦争でアメリカは何をしたか**

市民平和訴訟の会・東京 (日本語版制作ビデオプレス)・  
1998年・35分・3500円 (団体 10500円)

91年の湾岸戦争はハイテク兵器の実験場だった。アメリカはここで初めて「劣化ウラン弾」を使った。イラクの子供たちの被害、キャロル・ピコーの証言などを中心に、劣化ウランによる放射能被爆の悲惨さを描きだす。97年米国・ピープルズビデオネットワーク制作。

● **白井佳夫の映画『無法松の一生』**

**完全復元パフォーマンス**

ビデオプレス・1994年・55分・5000円 (団体 15000円)

映画『無法松の一生』は、当時内務省の検閲で10分カットされ、戦後はアメリカ占領軍によって8分カットされた。戦前は「ヒューマンイズムの思想」として、戦後は「封建的思想」として録を入れられた。検閲されたシーンの謎に迫るパフォーマンスの記録。

＜歴史問題＞

● **癒されぬ傷跡**

ビデオプレス・1996年・20分・2500円 (団体 7500円)

「朝鮮人元従軍慰安婦の証言」「生きている間に語りたかった」などに収録された証言のダイジェストに加え、国連人権委員会をめぐる動きなどをフォローしている。

**オススメ**

● **天皇の名のもとに — 南京大虐殺の真実**

日本語版制作委員会・1995年・50分・6000円 (団体 18000円)

1937年12月の南京大虐殺とは何であったのか。当時、南京に滞在していた米国人ジョン・マギー牧師は、密かに16ミリフィルムを回しその実態を記録していた。監督クリスティン・チョイ/ナンシー・トン。(残部僅少)

● **生きている間に語りたかった** **オススメ**

ビデオプレス・1993年・30分・3000円 (団体 9000円)

1992年12月9日に開催された「日本の戦後補償に関する国際公聴会」の記録。公聴会には、元従